

とほくと



△地域活動の拠点吉永公民館



▶人口 10,523人
 ▶世帯数 2,947世帯
 (昭和62年7月1日現在)
 ▶面積 11.41平方キロ

富士・愛鷹山の自然と 清流に恵まれたまち 吉永

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。10月は須津、11月は元吉原地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

吉永地区は比奈・富士岡を中心に、北に間門・鵜無ヶ淵などの集落が赤淵川沿いに広がる地区です。比奈は「姫名」ともいわれ、平安時代の書物にその名があります。また、「竹取物語」のヒロインかぐや姫の生まれたところとして竹取塚もあります。

このような伝説に色どられた比奈地区ですが、現在は大手の製紙工場が並び、住工混在の人口密集地となっています。

東名から北の地域は、畑・茶畑の広がる農村地域ですが、近年山間部に民間の宅地造成がされてきました。

また、愛鷹山西側の内山財産区は、ヒノキの樹林が広がる森林地帯で、勢子辻は林業家の集落です。地区南端の水田が広がる場所には、東部下水処理場として終末処理施設の建設が進められています。財産区を含め愛鷹山山頂まで広がる吉永地区は、人口密集地域の生活環境の改善、石井付近の宅地造成の問題など、これから解決すべき問題を残している地域です。



△若い人の目立つ鵜無ヶ淵神楽保存会の皆さん

曲で、太鼓・横笛・舞が三位一体となっておりなす民俗芸能です。かつて、神楽の中心は青年でしたが、青年団活動の低下から存続が危なくなり、昭和三十五年に保存会が結成されました。

現在、会員は二十五人。二十代から七十代まで幅広いメンバーで構成されています。

会社員がほとんどで、ふだんの練習は月に数回、夜二・三時間行われます。これから十月十六日のお日待ちに向けて練習に力が入るときです。練習の中心は、この道四十年以上という三人の師匠。三人の目・耳・口からじかに伝わります。

代表者で師匠の一人でもある鈴木与市さん(六十二歳)は「鵜無ヶ淵神楽の特徴は、女の神楽で優しく、おとなしい点です。練習を熱心にやって五年ぐらいたてば一人前かな」と語ってくれました。

鵜無ヶ淵神楽は約四百年前から地元で伝わっています。神楽の奏者は鵜無ヶ淵の住民に限られ、親子三代にわたって継承している人もあります。

鵜無ヶ淵神楽は「下り葉」「幣の舞」「剣の舞」「狂の舞」の四

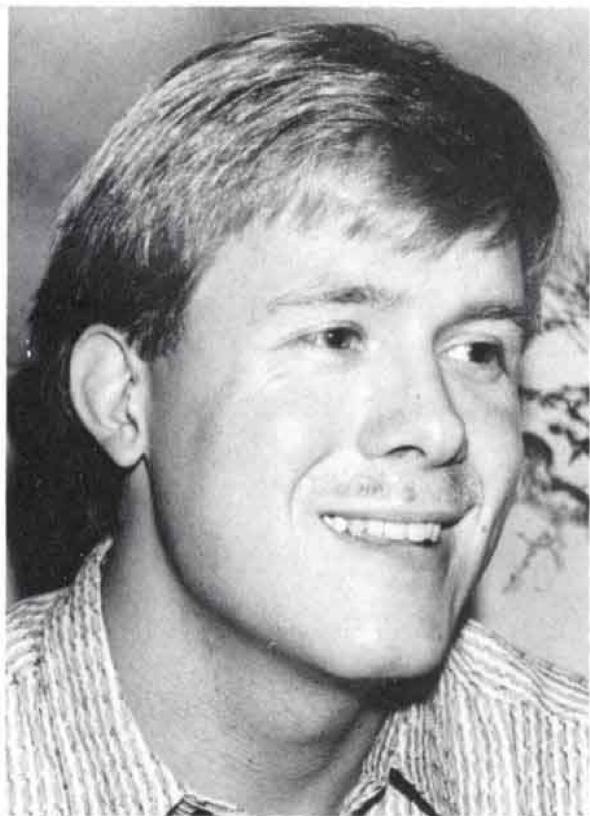
日本の伝統芸能「神楽」。伝える人も少なくなりました。現在の、地域一丸となって伝承しているのが「鵜無ヶ淵神楽保存会」の皆さんです。今回は、練習場の鵜無ヶ淵公民館におじゃましました。

おじゃま
します

神楽を伝えて四百年

鵜無ヶ淵神楽保存会の皆さん





吉原商業高校へやって来た
アメリカ人の英語の先生

James Paul Lassegard さん

(今泉・立小路 22歳)

愛称はジエイミー。明るく誠実な人柄は、早くも近所の子供たちの人気も集めています。



国際化時代に対応できる人材を育てるため、吉原商業高校に英語の先生としてやってきた、ジエイムス・ポール・ラセガードさん。

アメリカはミネソタ州セントポール市の出身で、ことし六月に大学を卒業したばかりのフレッシュマンです。

まちか

我がまちを語る



神谷三郎さん

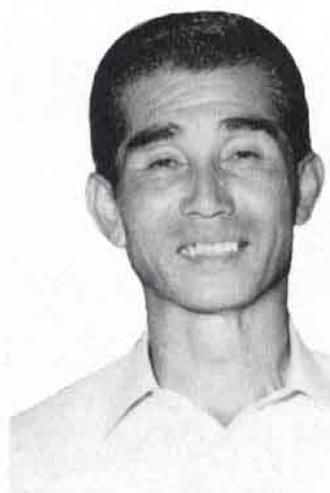
富士岡 3 (72歳)

昔から根方の中心地

気候がよく水が豊富な吉永は、古くから根方の中心地でした。富士岡の根方街道沿いの商店街には、北部からも人が集まり、映画館もあってにぎわいました。

藤知一郎などの人材は、こうした土壌で生み出されたと思います。ところが最近、沼津線を通ると、須津・浮島の方に比べてちょっと元気がないかなと思うときがあります。工場と住宅の混在、狭い道路など環境的な問題もありますが、地域として何か盛り上がりを作る必要性を感じています。

あの人・この人・こんなこと



「コイ」コイして八年間
鈴木善証さん(東比奈)

比奈・医王寺前の池の清流は、通る人ですがすがしさを与えてくれます。この池にたくさんいるコイは、その数約七百匹。八年前から、近くに住む鈴木さんが釣ってきたり、不用なペット魚をもらって徐々にふやしたものです。



仁藤恵美子さん(中比奈)

吉永公民館の青年講座は、英会話、バドミントン、社交ダンス、料理の四講座。体を動かすことが大好きな仁藤さんは、五年前からバドミントン講座に参加。今では青年講座の中心メンバーに。「仲間がいれば、一人ぼっちでない実感がわく。結婚しても続けたい」と、おしゃべりしながら楽しくをモットーに活躍しています。

「竹取のおきな」ありけり

岡田博さん(中比奈)

郷土の昔話として脚光を浴びてきたかぐや姫。この竹取塚は岡田博さん方の竹林にあります。白髪の岡田さんが竹林に入ると竹取のおきなイメージにぴったり。岡田さんは「この辺には、かぐや姫・籠畑・かこいの道・見返り坂など竹取物語に由来する地名が多く残っています。ここが本家に間違いなし」と太鼓判。